

君津中央病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	非定型大腿骨骨折の形態を有した大腿骨ステム周囲骨折の後方視的検討（倫理委員会承認番号：466）
当院の研究責任者 （所属）	整形外科部長 大塚 誠
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	順天堂大学医学部附属順天堂医院整形外科・スポーツ診療科・教授 金子 和夫
本研究の目的	<p>非定型大腿骨骨折は、原因となる外傷がまったくないか、軽微な外傷で横骨折が生じるという、通常（定型的な）の骨折にない特徴を有している。2010年と2013年に American Society of Bone and Mineral Research(ASBMR)の Task Force report で非定型大腿骨骨折と定義され、大腿骨頸部骨折や骨腫瘍に関する病的骨折、大腿骨ステム周囲の骨折は除外されている。本骨折には、骨粗鬆症治療に用いるビスフォスフォネート製剤の長期投与や、大腿骨の彎曲変形などによってリスクが上がるということが知られている。さらに骨癒合が得られにくく治療に難渋することが少なくない。一方、大腿骨ステム周囲骨折は、人工股関節手術の増加や高齢化とともに、今後確実に増加する骨折として注目されている。本骨折もステムが髓腔を占拠している為、骨癒合が得られにくく治療に難渋することが報告されている。近年、大腿骨ステム周囲骨折の中に、非定型大腿骨骨折と同様の受傷機転と骨折形態を有する症例報告が散見され、我々も数例経験している。そこで、我々は ASBMR では除外されているものの、明らかに大腿骨ステム周囲骨折のなかに非定型大腿骨骨折は存在していると考えている。本研究の目的は、症例数の少ない非定型大腿骨骨折の形態</p>

	を有したステム周囲骨折の全国調査を行うことで、本骨折の特徴を検証することである。
調査データの 該当期間	2008年1月1日～2017年12月31日
研究の方法 (対象となる方)	順天堂大学医学部附属順天堂医院および参加施設で、治療した非定型大腿骨骨折の形態を有した大腿骨ステム周囲骨折症例 除外基準①フォローアップ不能であった患者 ②その他、研究責任者が被験者として不適当と判断した患者
研究の方法 (使用する情報)	日本骨折治療学会の評議員に非定型大腿骨骨折の形態を有した大腿骨インプラント周囲骨折の有無をアンケート調査する。次に、回答が得られた非定型大腿骨骨折の形態を有した大腿骨インプラント周囲骨折を収集する。そして、患者データとクリニカルアウトカム、術前後の単純X線を用いて集計を行う。
資料・情報の他機関 への提供	本研究で得られた結果は、整形外科学会で発表し、整形外科学領域の専門学術誌で論文として公表する予定である。いずれの場合においても公表する結果は統計的な処理を行ったものだけとし、被験者の個人情報は一切公表しない。
個人情報の取扱い	研究実施に係る情報等を取扱う際は、被験者の個人情報とは関係ない被験者コードを付して管理し、被験者の秘密保護に十分配慮する。研究の結果を公表する際は、被験者を特定できる情報を含まないようにする。また、研究の目的以外に、研究で得られた被験者の情報等を使用しない。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究は、整形外科の研究費により実施する。外部の企業からの資金や便益等の提供はなく、研究者が企業等とは独立して計画し実施するものであり、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無い。また、本研究の研究責任者および研究分担者は、「順天堂大学利益相反マネジメント規程」に従い、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申告し、その審査と承認を得るものとする。
お問い合わせ先	君津中央病院整形外科部長 大塚 誠

	〒292-8535 千葉県木更津市桜井 1010 君津中央病院整形外科 0438-36-1071
備考	